

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 3年 4月 1日

事業所名 こどもプラス武雄教室

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	2	2	フロア中央に柱があるため、安全に活動できるよう工夫しています 密になる時は声掛けて距離を確保しています
	2 職員の配置数は適切である	4	2		適切に配置しています
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	2	2	玄関の上り戸以外はバリアフリーとなっています
業務 改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	2	1	毎日の申し送り・定期的なミーティングや会議を行い、改善点は都度話し合っています
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	2		アンケートであがった問題点や改善点は職員間で話し合い、改善に向けて取り組んでいきます
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	2		毎回公開しいつでも閲覧できるようにしています
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	4		現在外部評価の実施はしていません
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1	1	月に2回は動画研修を行い、その他研修も必要に応じて受けています
適切 な 支 援 の 提 供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5		1	児童に関する気づきや問題行動は情報を共有し計画の見直しに繋げています また担当者会議等で課題を分析して計画書作成に繋げるようにしています
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1	1	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1		運動リーダーを中心に計画を立てています
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1		職員全員で話し合い、マンネリ化を防ぐよう努めています
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6			児童が楽しく通所できるようイベントを組み込む等、子供たちが飽きないよう工夫しています
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	3		計画は個別で立てていますが、支援内容に集団活動を取り入れるよう工夫しています
15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			毎日朝の申し送りで予定を確認しています 主に役割分担や気になる児童の支援方法や内容について話し合っています	

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6			支援中の出来事や送迎車での様子など、気づきがあれば互いに情報共有しています
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1		日々の記録は、目標に沿って記入するようにしています
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	1		保護者に教室に来ていただく時間を作ってもらいモニタリングを実施するよう務めています
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	3	3		スタッフで考えながら、いろいろな活動を組み合わせ合わせています
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	1		管理者児発管が参加し、職員に周知するようにしています 日ごろから児童の様子を共有し合っているので誰が参加してもいい体制は整っています
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5	1		児童の安全を最優先に、細やかな調整を行っています 金曜に翌週の下校時間の確認をしており、細かい連絡調整は管理者が行っています
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	3	1	現在医療ケアが必要な児童はいませんが、今後受け入れの際には対応可能です
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	3		相談支援事業所や保護者からの情報をいただき状況の把握に努めています
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		3	3	現在対象の児童はいませんが、今後必要な時には情報の提供等、協力していきたいと思います
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	1	4	現在はできていません
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	4	1	コロナ禍により控えています
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		2	4	コロナ禍により参加を控えています
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			連絡ノートや送迎時に報告し、共通理解できるよう努めています 電話対応により相談に乗ることもあります
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	2	1	支援内容はしっかり伝え、家庭でもできるようアドバイスをしています

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1		見学・契約時に説明を行っています
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1		管理者が中心となり、対話や電話対応にて相談に応じています
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		2	4	コロナ禍により控えていますが、ご要望に応じて今後検討していきたいと思えます
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	1		万が一苦情があった際には迅速に対応できるような体制を整えています 内容は職員に伝え、共有します
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	1		毎月教室だよりを発行しています 活動内容やイベント案内が記載されており保護者に配布しています
	35	個人情報に十分注意している	6			鍵付き書庫にて保管し、外部への流出を防いでいます
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			情報共有しやすい関係づくりをしています 個別に伝達方法を探り、配慮をしています
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3	2	地域のイベントに参加することはあります
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	1		相談室に掲示しています
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			消防士の派遣を要請し、監視のもと訓練をしてアドバイスをもらっています
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	2		年2回は必ず研修を行い、職員の理解を深めるようにしています
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	2		現在拘束が必要な児童はいませんが、職員は身体拘束への研修を行い、理解を図っています 今後必要な児童に対しては計画書に記載していきます
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	3		アレルギーについては保護者に確認しています
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			事例があった際には必ず記載しています 職員で話し合い、確認しています